

## 国体委員会

### 2018年度活動報告

#### 1) 活動概要

- ① 長野県クライミング大会兼国体選手選考会の開催
- ② 第39回北信越国体山岳競技会の選手派遣
- ③ 第73回国民体育大会選手の選出、派遣
- ④ 国体選手・国体候補選手参加の強化合宿のサポート
- ⑤ 長野県体育協会との連携
- ⑥ 北信越連絡協議会等への参加

#### 2) 活動内容

##### ① 各種大会・諸会議

月	日	事業内容	会場
4	1	H30競技委員総会(松田)	東京都
5	10	競技力向上専門委員会	長野市
	13	北信越五県代表者会(唐木、伊久間、松田)	新潟県妙高市
6	17	長野県クライミング大会兼国体代表選手選考会	伊那市CGアチーブ
7	21～22	第39回北信越国民体育大会	新潟県妙高市
8	11～13	第21回JOCジュニアオリンピックカップ	富山県南砺市
9	20	第73回国民体育大会監督会議(中嶋、小沼)	長野市
10	4～7	第73回国民体育大会(成年男子・成年女子・少年男子、唐木、伊久間、松田)	福井県池田町
11	17	北信越五県連絡協議会	長野市
	22	県体協ヒアリング(中嶋、小沼、松田)	長野市
12	14	理事長・競技力向上専門委員合同会議	長野市
	22～23	第9回全国高校生クライミング選手権大会	埼玉県加須市

上記他、長野国体開催に関する多くの会議への参加要請が、県体協等から出された。

◇ 毎月東京で開催された国体委員会に出席した。

② 主な大会リザルト

【2018 長野県クライミング大会兼国体予選会】伊那市・『アチーブ』

Category M I	1位 中嶋 渉	2位 小林 大祐	3位 京屋 仁	
	4位 橋本 今史	5位 西脇 匠一	6位 大竹 志弥	
	7位 野本 拓見	8位 古澤 憲章	9位 山口 栄斗	(11 選手参加)
Category M II	1位 中嶋 諒	2位 戸谷 諭美	3位 早石 利枝	
	4位 松尾 隆久	5位 川嶋すず菜	6位 小宮山弘子	
	7位 齋藤 天寿	8位 大竹なつ穂	9位 岡村 来晟	(25 選手参加)

国体長野県代表選手

種 別	監 督	選 手	
成年男子	中嶋 岳志	中嶋 渉	小林 大祐
成年女子	橋詰 正興	早石 利枝	戸谷 諭美
少年男子	小沼 拓也	古澤 憲章	山口 栄斗
少年女子	中嶋 岳志	中嶋 諒	川嶋すず菜

※監督は北信越国体

【第 39 回北信越国体】(7/21~22 新潟県妙高市 国際自然環境アウトドア専門学校)

リード	成女	少男	少女	ボルダー	成女	少男	少女	総合	成女	少男	少女
1位	長野	新潟	富山	1位	石川	新潟	新潟	1位	石川	新潟	富山
2位	石川	長野	新潟	2位	富山	長野	富山	2位	長野	長野	新潟
3位	富山		長野	3位	新潟		長野	3位	富山		長野
4位	新潟			4位	長野			4位	新潟		

・少年男子：富山・石川不参加 少年女子：石川不参加

※ 福井は本国体開催県のため、ブロック大会免除

【第 73 回国民体育大会】 福井県池田町

種 別	監 督	選 手	
成年男子	中嶋 岳志	中嶋 渉	小林 大祐
成年女子	橋詰 正興	早石 利枝	戸谷 諭美
少年男子	小沼 拓也	古澤 憲章	山口 栄斗

成男 ボルダリング 22位 リード 13位

成女 ボルダリング 17位 リード 14位

少男 ボルダリング 17位 リード 19位

【第21回 JOC ジュニアオリンピック大会】 (8/11～13 富山県南砺市桜が池クライミングセンター)

ユースB男子 40位 古澤 憲章 41選手参加  
ユースB女子 24位 中嶋 諒 27位 川嶋すず菜 31選手参加

【第9回全国高等学校選抜クライミング選手権大会】 (12/22～23 埼玉県加須市民体育館)

リード男子 45位 野本 拓見(野沢北高校) 105位 西 滉太(上田西高校)  
110選手参加  
リード女子 52位 土屋 春菜(須坂高校) 81位 田中ひかる(上田西高校)  
86位 竹花愛結実(上田西高校) 101選手参加

【日本ユース選手権リード競技大会 2018】 (3/24～26 印西市 松山下公園総合体育館)

ユースB男子 29位 古澤 憲章 46選手参加  
ユースB女子 16位 川嶋すず菜 22位 中嶋 諒 37選手参加

【ボルダリングユース日本選手権鳥取大会 2018】 (5/19～20 鳥取県立倉吉体育文化会館)

ユースB女子 17位 中嶋 諒 32位 川嶋すず菜 50選手参加

③ 強化合宿、各種競技会参加

スポーツクライミング委員会を中心に多くの強化錬成や各種競技会への参加がある。

～ スポーツクライミング委員会資料参照 ～

3) 総括

- ① 予算の問題を抱えつつ、昨年に引き続いてのハイレベルな長野県クライミング大会兼国体選手選考会が開催された。
- ② 長野クライミングチームとして、意欲的な錬成が展開された。しかし残念ながら、本年も国体では芳しい成績を残すことが出来なかった。さらには、女子並びに若手クライマーの育成が急務である。そのためにも一層の選手層拡大に努めたい。
- ③ 長野国体の開催が決定したので、選手の発掘・育成、役員の育成に今後精力的に励む必要がある。